

令和5年度事業報告書

1. 「海の日」普及啓蒙事業

(1) 「海の日」記念式典の開催

祝日「海の日」記念式典及び海事関係功労者表彰式は、名古屋では、7月25日（火）に「名古屋市公会堂」において、中部運輸局、中部地方整備局、第四管区海上保安本部の主催により、被表彰者、来賓ご出席のもとに盛大に行われました。当協会から高橋会長が祝辞を述べました。当協会からは、被表彰者の方のうち等グッズを配布しました。また、7月5日には、愛知・岐阜運輸支局長表彰式が開催され、被表彰者の方のうち等グッズを配布しました。

その他の地区では、鳥羽地区を除き、例年どおり中部運輸局運輸支局（海事事務所）及び海上保安部等の主催により、関係者の出席のもとに、盛大に表彰式が開催されました。

記念式典開催と被表彰者及び来賓等の出席状況

開催日時	会 場	被表彰者数	来 賓 等 数	合 計	備 考
7/25	名古屋市公会堂	118	3	121	名古屋
7/20	静岡市清水文化会館 (マリナート)	98	137	235	清 水
7/20	四日市商工会議所	12	37	49	四日市
未実施	—	—	—	—	鳥 羽
7/26	きらめきみなと館	9	43	52	敦 賀
7/25	下田市民文化会館	1	11	12	下 田
計		238	231	469	

(2) 「海の日」・「海の月間」パレード

中部地区では名古屋市におけるパレードが7月17日に名古屋市西築地小学校から名古屋港ガーデン埠頭まで1時間の行程で行われ、海洋少年団等がガーデン埠頭「つどいの広場」までパレードしました。

(3) 「海の日」・「海の月間」広報

「海の日」・「海の月間」行事として各地で行われるイベント等について、中部運輸局の協力をいただき一覧表を製作し、運輸局のホームページに掲載するとともに、ポスター

を関係先に配布し広報に努めました。また、当協会もホームページに各地の行事を掲載しました。

(4) 「海の日」・「海の月間」海浜清掃の実施

名古屋港ガーデン埠頭一帯において、令和5年7月2日に海岸清掃を実施しました。(参加者約117名)。その他、実施された地域は、豊橋市高豊海岸(7月8日:参加者約8名)、田子の浦港等(令和5年7月17日;参加者約50名)、伊東港(7月14日:約52名)でした。なお、気比の松原海岸では、清掃に参加する者が高齢となったことから、当面実施しないことになりました。

(5) 「海の日」ポスターコンクール入賞作品の展示

日本海事広報協会(本部)が、毎年実施している「海の日」ポスターコンクールで、2023年度の入賞作品7点(大賞1点、優秀賞2点、佳作4点)を、本部の要請により7月18日~7月24日までの間、名古屋港ポートビル2階回廊ギャラリーに展示しました。さらに、中部運輸局にもご協力をいただき、7月20日~7月31日までの間、本局では名古屋第一号館で、岐阜運輸支局内及び三重運輸支局内でそれぞれ展示していただき、海事思想の普及啓蒙に努めました。

(6) 中学生の海の絵画コンクール

令和5年度中学生海の絵画コンクールは、中部運輸局、中部各県教育委員会の後援のもとに、中部5県下の中学生より作品を募集しました。

募集の結果、25校・2絵画教室より212点の応募があったので、審査会を6月16日に名古屋港ポートビルで行い、金賞1点(中部運輸局長賞)、銀賞3点(中部海事広報協会会長賞)、銅賞6点(同)、海の子賞3点(日本海事代理士会中部支部長賞)、佳作17点(中部海事広報協会会長賞)、計30点を選出しました。なお、金賞は浜松市立南部中学校の河世珠さんが受賞されました。

これらの受賞作品を、名古屋港ポートビル2階回廊ギャラリーに令和5年8月21日~28日まで展示し、各地においても展示会を開催しました。さらに、サークルクラブ協会が実施した「令和5年度我ら海の子展」に金賞・銀賞・銅賞受賞作品10点を応募しましたが、残念ながら、どなたも入選しませんでした。

入賞者の表彰は、賞状及び副賞をそれぞれ本人の学校を通じて伝達をお願いしました。

県別応募状況

県別	学校数	応募数
愛知県	12校・2絵画教室	162
岐阜県	1	3
静岡県	4	33
三重県	7	12
福井県	1	2
合計	25校・2絵画教室	212

展示会開催状況

開催地	会場名	期間	観客数	展示数
名古屋市	名古屋港ポートビル	8/21～8/28	2,500	30
四日市市	四日市港ポートビル	7/28～8/16	2,997	18
合計			5,497	48

2. 海事思想普及事業

(1) 海事施設見学会及び講習会の開催

「船との出会い事業」として、当協会が主催又は共催、後援及び協賛した体験乗船会及び海事施設見学会等は、当初7月27日及び8月に計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。しかし、日本郵船㈱、旭運輸㈱及び中部運輸局様のご協力により、令和6年2月24日（土）に名古屋港金城埠頭で自動車専用船の見学会を実施することができました。（参加者は22名）

その他、清水港では、浜名湖ボートレース場での取り組みと連携して、7月6日（木）と7月12日（水）に海洋教室を実施しました。（参加者101名）また、福井県坂井港では、7月29日（土）に遊覧船によるツアーを三国モーターボート場での取り組みと連携して、実施しました。（参加者25名）

各海事広報協会は、これらの事業を実施するにあたり、参加者には「海のうちわ」、「タオル」、「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

(2) 「海の日」の旗の掲揚

静岡市清水区、葵区において、国民の祝日「海の日」を広く一般に広報するため、「海の日」の旗を「海の月間」期間中関係行事の開催会場、係留船、及び地元商店街の通りに掲揚しました。

(3) 小学生向け副教材の配布等

日本海事広報協会は、平成30年4月に完成した副教材（①児童用テキスト、②指導書、③ワークブック）を、30年度第2学期に豊橋市内の全小学校に無料提供し、10月に副教材を活用したモデル授業を実施してもらいました。さらに、12月に副教材に関して、教師と児童を対象にアンケートを実施しました。

その後、副教材等の内容をより充実させるために、豊橋市内の小中学校の社会科担当教師を対象に海事施設見学会を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

今後とも、副教材の内容の充実を図ることがあれば、当協会も参画し、本部のお手伝いをするものとします。

(4) 広報宣伝資料の発行及び配布

広報宣伝資料の主なものは次のとおりでした。

- ① [海の日] 広告宣伝ポスター (7月初旬関係先へ配布)
- ② 海上の友 (月1回発行 販売)
- ③ 帆船のカレンダー (12月に会員配布)
- ④ 海事産業施設マップ：四日市港 (各県海事広報協会、中部運輸局に完成版を配布)

日本海事広報協会から、昨年に引き続き作成するよう指示があったので、三重県海事広報協会のご協力をいただき、四日市港の海事産業施設マップを令和5年5月に東京の業者に依頼し、完成版を作成しました。今後は、海事施設見学会等に活用します。

なお、令和6年度は、敦賀港版を作成するために、福井県海事広報協会にご協力をお願いすることとしています。

⑤ 第16回夏休み伊勢湾発見ツアー

第16回夏休み伊勢湾発見ツアーの実施に向けて実行委員会を設置し、6月9日に実行委員会を開催し、8月22日に万全の感染対策を講じて実施することとしました。

※実行委員会の構成員 山原支部長・久里執行部員：全日本海員組合名古屋支部、黒田取締役総務部長：名港海運(株)、谷水課長：名古屋みなと振興財団、野田課長：日本モーターボート競走会東海支局、服部旅客課長：中部運輸局、大部総務課長：中部地方整備局名古屋港湾事務所、丹羽総務課長：第四管区海上保安本部、千賀課長：名古屋港管理組合

オブサーバー 山本部長・森岡係長：伊勢湾フェリー(株)、島田団長：中日海洋少年団
中部管内の小中学生と保護者1組5名まで計250名を対象に、6月24日の中日新聞の朝刊に募集広告を掲載してもらったところ、571名の応募があったことから、抽選により250名を選定しました。

当日は、218名（大人109名、子供109名）が参加し、名古屋港ガーデン埠頭からセントレア沖を折り返して帰ってくる約4時間の行程で、船内では、救命胴衣の着用指導、ロープワークの指導、手旗信号の披露、ブリッジ見学などのイベントを実施しました。また、セントレア沖から帰ってくる途中で、海上保安部の巡視船「あゆずき」と海上ヘリコプターがフェリーと併走するというサプライズが実施され、参加者は歓喜の声をあげていました。

参加者にあらかじめお願いしていたアンケートでは、59名（配付数109名：子供）の提出があり、イベントや感染対策は概ね好評で、特にサプライズが一番良かったとの感想が多くありました。また、「将来大人になったら海や船に関する仕事をしたいか」との問いに対して、15名の子供が「はい」と回答しており、取り組みの一定の成果があったものと思料されます。

ただし、船内イベントは概ね好評でしたが、時間と場所がわからず、参加しなかったとの回答が多くみられ、また、アンケートの回収率が54.1%（昨年度は89.5%）とかなり悪かったので、それぞれ工夫が必要と思われます。

- ⑥ 出前授業の実施に向けて、名古屋市教育委員会及び校長会会長の了解をいただき、令和4年11月に名古屋市立の全小学校262校に対して、出前授業の申込の案内を送付しました。しかし、一校も申込がありませんでした。

令和6年度では、261校に対して出前授業の申込の案内を令和5年11月に送付したところ、1校の小学校から申込がありましたので、中部運輸局及び海運会社の船長等のご協力をいただき、実施する予定です。

- ⑦ 夏休み 親子de名古屋港！

日本モーターボート競走会からの助成により、夏休み期間中親子で海に親しんでもらうために、当協会管内の小中学生とその保護者1組2名計50組100名に、名古屋港水族館及び名古屋港ポートビル3施設（展望室、海洋博物館、南極観測船ふじ）の共通入館券を無料で提供し、費用対効果を検証するために、後日アンケート用紙を送付してもらうこととしました。

この取り組みの募集広告を中日新聞の朝刊に掲載してもらったところ、264通の応募があったので、抽選により50組100名を選定し、次の資料を事前に送付しました。

アンケートを実施したところ、32組から送付があり、各施設とも概ね好評という内容で、また、「将来大人になったら、海や船に関する仕事をしたいと

思いましたか」との問いには、8名の子供が「はい」と回答しており、これにより、十分海に親しんでいただけたものと思料します。

(送付資料)

- ・4施設共通入館券、中部海事広報協会の取り組み、パンフレット「海の仕事発見隊」、モーターボート競走関係資料、ペーパークラフト(伊勢湾フェリー(株)の伊勢丸)、アンケート用紙

3. 地 方 事 業

◎海事施設見学会(中部海事広報協会)

船との出会い事業として、計画しました次の見学会等は、いずれも新型コロナウイルスの影響で中止としました。

1) 海事施設見学会

日時：7月下旬

場所：飛島南側コンテナターミナル、名古屋港管理組合の港務艇に乗船しての名古屋港内見学、太平洋フェリー(株)の「いしかり」の船内

対象：名古屋市内の小学3年生～年生とその保護者20組40名

2) 豊橋地区での海事施設見学会

日時：7月頃

場所：豊橋地区での自動車運搬船、新来島豊橋造船、豊橋倉庫のいずれか

対象：豊橋市内の小学5年生の社会科担当教師

目的：副教材「海運と船と港の役割」の内容の充実

3) 飛島地区での海事施設見学会

日時：8月

場所：飛島南側コンテナターミナル

対象：名古屋市内の小学3年生～5年生

目的：本部主催の SHIPPING ジャーナリスト賞への応募(新聞づくり)

○上記の代わりに、次の海事施設見学会を実施しました。

日時：令和6年2月24日(土) 9:00～12:30

場所：名古屋港金城埠頭に停泊している自動車専用船内の見学等

対象：名古屋市内の小学3年生～5年生とその保護者15組30名(1組2名)

参加者：小学生11名、保護者11名、スタッフ4名 計26名

協力：日本郵船(株)名古屋支店、旭運輸(株)、国土交通省中部運輸局

見学内容 ・港湾運送事業者による船内への自動車の積み込みの様子

・ブリッジ及び機関室内の見学

見学会終了後のアンケートでは、日頃見ることの出来ない自動車専用船に車両を積み混む様子

や船内を見学できたことは、非常に新鮮で勉強になったと多くの方が記入されていました。また、11名の児童のうち5名が、「将来大人になったら海や船に関係する仕事をしたいと思いましたか」との問いには、『はい』と回答しており、実施の効果が十分あったものと思われます。

◎ 清水港海洋教室：海事施設見学と体験乗船（静岡県海事広報協会）

静岡市山間部の小学生を令和5年7月6日と7月12日に101名招待し、清水港内の海事施設見学会を実施しました。参加者には「パンフレット」等の広報資料を配布しました。

◎ 浜名湖ボートレース場への親子来訪の呼びかけ教室の実施（静岡県海事広報協会）

令和元年12月に同施設内に設置された「ボートレース場の親子の遊び場 M o o o v i（モーヴィ）浜名湖」と合わせ、モーターボートレースの収益金による活動領域等々のプレゼンテーション教育を浜名湖競艇企業団の方から資料等の提供をいただき、静岡市内の山間部の小学生の児童及び先生を対象に実施しました。また、親子での浜名湖競艇場への来訪を呼びかけました。

○実施日 令和5年7月6日及び12日

○実施場所 新興津コンテナターミナル管理棟4階 多目的ホール等

○参加者 小学生86名、先生他15名 計101名

○実施内容

- ・配布資料提供 担当：浜名湖競艇企業団宣伝課 宮崎主査
- ・説明者：静岡県海事広報協会 大島・岡田
- ・M o o o v i 浜名湖パンフレットを活用した同施設の説明
- ・ボートレースの収益金についての説明（収益金が社会に貢献している）
- ・活動領域 「福祉車両配備」、「歯の妖精」等々の説明
- ・M o o o v i の家族入場券、BOATRACE浜名湖の70周年記念うちわ、海から回収されたプラスチックを使ったボールペンを加えたセットを配布しました。

● 浜名湖ボートレース場内での浜名湖競艇団との協賛企画の実施

○実施日 令和5年8月27日（日） 10：00～16：00

○実施場所 ボートレース浜名湖

○実施内容

- ①パドルボート乗船体験
- ②ボートレースVRスプラッシュバトル
- ③なりきりボートレーサー

○参加者 当日開催された「エンジョイ！はまなこレイクフェスティバル」におけるイベントの一部として開催。当日来場者の自由参加形式。
当日体験者①335名

②男性80名、女性81名、子供135名 計296名

③男性33名、女性4名、子供97名 計134名

◎津競走場を活用した取り組み（三重県海事広報協会）

1. 日 時 令和5年8月24日（木） 9：30～15：30
2. 場 所 三重県津市
3. 内 容 第29回「親子で学習！ヨットに乗船」

海や船と港の役割や大切さを知ってもらうことを目的として、ヨット・ボートに乗船するイベントを実施しました。今回は、初めて伊勢湾海洋スポーツセンター（津ヨットハーバー）で実施しました。

開催にあたり、中部運輸局三重運輸支局四日市庁舎の担当官から、四日市港の概要説明と港や船舶について、出前講座を受けました。

伊勢湾海洋スポーツセンター、モーターボート競走会津支部の協力のもと、4種類のヨット・ボートに乗船しました。

ヨット・ボートに乗船すること自体が初めての方も多く、「夏の良い思い出になると同時に、貴重な体験ができた」とのアンケートの回答をいただきました。

4. 参加者数 小学生または中学生1人と保護者1人をペアとする 合計14組28名
5. 協 賛 中部運輸局三重運輸支局、（一財）日本モーターボート競走会東海支局、（一財）日本モーターボート競走会津支部、（一財）伊勢湾海洋スポーツセンター

◎三国ボートレース場でのバーチャルボートレース体験（福井県海事広報協会）

モーターボート競走事業と連携し、福井県在住の親子（小中学生）を対象に海事産業やマリンスポーツ等を通じて海の恵みや関わりを体感し、海事思想の普及を図ることを目的に、ボートレース三国でバーチャルボートレース体験を7月29日に実施しました。

一般公募により、福井県在住の小中学生を含む親子20組40名を募集したところ、15組30名の応募がありましたが、コロナウィルス感染等の理由により、当日は13組25名の参加となりました。

当日は、敦賀駅及び福井駅発着にて大型バス1台を運行し、次の取り組みを実施しました。ボートレース三国ではモーターボート競走会三国支部の方より競走事業の説明と売上金の一部が社会に貢献していることを説明していただきました。

- 1) バーチャルボートレース機器を活用して競技の迫力を体感してもらう。
- 2) 体験の前後、三国競走場の内部を自由に見学してもらい、希望者には勝負服を着て写真撮影会も行う。
- 3) モーターボート競走の概要をわかりやすく解説する。
- 4) コロナウィルス感染拡大を理由に中止していた遊覧船の乗船を本年より再開し、参加者には「東尋坊観光遊覧船」に乗船していただく。

【配布資料】・日本財団アニュアルレポート

・記念品（トートバッグ、うちわ、ノート、ウエットティッシュ）

アンケートを実施したところ、参加者（保護者）13名のうち13名から、次のとおり回答がありました。

- 1) これまで三国ボートレース場に来たことはありますか。→46%の方が初めてと回答
 - 2) VR体験についてお伺いします。→11名の方が「楽しかった」と回答
 - 3) モーターボート競走「アニュアルレポート」を読んで、どう思いましたか。
→11名の方が「売上金の一部が社会貢献していることが分かった」と回答
 - 4) 今回のイベント全体を通してお伺いします。
→61%の方が「大満足」、31%の方が「ほぼ満足」と回答
- 以上のとおり、一定の成果があったものと思料します。

4. 庶務に関する事項

(1) 理事会・監事会及び総会

【令和5年度第1回理事会・監事会】

令和5年4月25日に名古屋港湾会館において令和5年度第1回理事会・監事会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和5年度通常総会（第59期）開催に関する件
- ② 令和4年度事業報告に関する件
- ③ 令和4年度収支決算に関する件
- ④ 役員推薦に関する件
- ⑤ その他

【令和5年度通常総会】

令和5年5月23日に名古屋港湾会館において令和5年度通常総会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和4年度事業報告及び収支決算の承認に関する件
- ② 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
- ③ 令和5年度役員推薦に関する件
- ④ その他

【令和5年度第2回理事会・監事会】

5月23日総会終了後第2回理事会・監事会を開催し、代表理事の選任を行いました。

【令和5年度第3回理事会・監事会】

令和6年2月20日に名古屋港湾会館において令和5年度第3回理事会・監事会を開催し、次の議題について、決議されました。

- ① 令和6年度事業計画（案）に関する件
- ② 令和6年度収支予算（案）に関する件
- ③ 令和6年度会費の口数増加に関する件
- ④ 令和6年度役員推薦に関する件
- ⑤ その他

(2) 全国事務局長会議

令和6年2月1日に東京で、全国海事広報協会事務局長会議が開催されました。会議では、令和5年度上半期の各協会からの事業進捗報告と本部から令和6年度事業計画の説明があり、質疑応答がなされました。